

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 理事会 議事録（要旨）

日 時	平成 28 年 3 月 23 日（水）午前 10 時から 11 時 20 分
会 場	横浜市健康福祉総合センター 8 階 大会議室 8 A B
出 席	理事総数 18 名中 17 名出席（うち書面審議 4 名）
議 題	<p>第 1 号議案 会員の承認について</p> <p>第 2 号議案 評議員の選任について</p> <p>第 3 号議案 平成 27 年度収入支出予算の補正について</p> <p>第 4 号議案 平成 28 年度生活支援体制整備事業業務委託の受託について</p> <p>第 5 号議案 定款の一部改正について</p> <p>第 6 号議案 諸規程・諸規則の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委任規程 ・職員就業規程 ・経理規程 ・寺尾センター及び都筑センター運営規則の廃止について並びに都筑センター運営規則の制定について <p>第 7 号議案 保育士修学資金貸付事業について（当日配付）</p> <p>第 8 号議案 平成 28 年度事業計画並びに一般会計及び年金共済事業特別会計収入支出予算について</p> <p>第 9 号議案 管理職員の人事異動について（当日配布）</p> <p>〔議題は審議の結果、すべて承認されました。〕</p>
報 告 事 項	<p>1 諸規則の一部改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務決裁規則 ・文書取扱規則 ・印章規則 ・障害者支援センター事務担当職員就業規則 ・経理規程細則 ・地域ケアプラザ運営規則 <p>2 平成 27 年度横浜市指導監査結果について</p>

議 事 要 旨	
● 第 1 号議案 会員の承認について	新規会員として、構成会員 A 1 団体、学識会員 3 名の入会について承認。
● 第 2 号議案 評議員の選任について	欠員に伴う 2 名の評議員の選任。
● 第 3 号議案 平成 27 年度収入支出予算の補正について	平成 27 年度収入支出予算の補正について承認。
● 第 4 号議案 平成 28 年度生活支援体制整備事業業務委託の受託について	平成 28 年度生活支援体制整備事業に関わる業務の横浜市からの受託について承認。
● 第 5 号議案 定款の一部改正について	定款の一部改正について承認。
● 第 6 号議案 諸規程・諸規則の一部改正について	<ul style="list-style-type: none"> ・（質問）鶴寿荘と寺尾地区センターは指定管理期間の終了後どうなるのか。 （回答）特定非営利活動法人 鶴見区民地域活動協会が次期の指定管理者として選定されており、現在引継ぎを順調に行っている。 ・（質問）経理規程の一部改正の中で、新規事業の生活支援体制整備事業に触れているが、予算はどの程度か。 また、この事業を行うにあたりどのような事を考えているか。 （回答）生活支援体制整備事業の受託では、区社協に生活支援コーディネーターを配置し、地域ケアプラザと連携しながら事業を進めていくことを考えている。予算額は約 1 億 3,800 万円。 また、地域ケアプラザへの生活支援コーディネーターの新規配置は、本会受託の 17 地域ケアプラザへ

の配置として、9,800万円余を予算計上している。

業務内容については、今後横浜市と詳細を整理していくが、主に区社協については、地域ケアプラザに対する地域づくりのための支援等、区域の支援としている。地域ケアプラザについては、地区アセスメントや日々の相談事業等を通じて把握している支援ニーズ等の情報を整理していく、日常生活圏域の支援としている。

諸規程・諸規則の一部改正について承認。

● 第7号議案 保育士修学資金貸付事業について

- ・ (質問) 貸付対象者が卒業年次の学生なのはなぜか。初年度の方が入学金等でお金がかかる。また初年度の方が誘導策にもなるのではないか。
(回答) 制度設計については横浜市で行っているが、市としては29年度から保育所で働ける人を求めているため、卒業年次と設定すると聞いている。
- ・ (意見) 横浜市で決められている内容なので変更はできないと思うが、今後これから保育士を目指す学生の支援を行うというのであれば、初年度に支援を行う等のやり方も考えていただきたい。
- ・ (質問) この事業では連帯保証人が要求されているが、連帯保証人を要求すると借受希望者にとって難易度が上がる。特に経済的に困難な学生であるほど連帯保証人の確保は難しい。制度として難しいとは思いますが、原則必要といった程度に緩める方法はないのか。
(回答) 国からの制約や他都市の状況を踏まえ制度設計を行った様ではあるが、今後市に情報提供を行い、どのような形が一番よいか調整しながら進めていきたい。
- ・ (質問) 看護学生は、各病院から奨学金を貰う制度がある。保育士も同様に保育園から奨学金を貰えるようにすれば、補助金額を減らせるのではないか。
(回答) 今後検討していけるよう情報交換をしていきたい。
「保育士修学資金貸付事業」の横浜市からの補助による実施について承認。

● 第8号議案 平成28年度事業計画並びに一般会計及び年金共済事業特別会計収入支出予算について

平成28年度事業計画並びに一般会計及び年金共済事業特別会計収入支出予算について承認。

● 第9号議案 管理職員の人事異動について

事務局管理職員の人事異動について承認。

○ 報告事項1 諸規則の一部改正について

○ 報告事項2 平成27年度横浜市指導監査結果について

○ その他

事務局	以下について報告 ①次回理事会について
-----	------------------------

- ・ (質問) 多くの事業を行っているが、職員の人数や男女比はどの位なのか。職員募集をすると応募は殺到するのか。
(回答) 4月に向けて、募集を繰り返しながら充足するよう努めており、確保できる方向で職員一丸となって頑張っている。
現在の常勤職員は約470名。今回の生活支援体制整備事業の受託により、18区社協で18名、17地域ケアプラザで17名の増となる。この他、地域包括支援センターにおいても高齢者人口に応じた増員が10館で10名あり、計45名の増員で約520名となる予定。また、男女比は常勤職員の約66%が女性である。